

今年も桜まつりが開催されました！

3月22日から31日まで西溪公園で桜まつりが開催され、22日のオープニングイベントでは、多くの人でにぎわいました。

また、寒鷺亭では、多久城下ひなまつりも開催され、来場者を雅で幻想的な空間に誘いました。

佐賀県の今年の開花は22日と発表されましたが、西溪公園の桜はオープニングにあわせての開花とはなりませんでした。しかし、待ちわびた多くのファンが来場し、あたたかい春のひとときを思い思いに楽しみました。



▲オープニングで勇壮な太鼓の演奏を披露する東部太鼓保存会のみなさん



▶オカリナグループ「はなみずき」さんの心にしみる演奏

この日は、さくら音楽祭と題して、5組が出演。オカリナの演奏では「はなみずき」さんの透き通る演奏や「おやじバンドOKUM55」さんの懐かしい歌声で桜の花は見られませんでした。オープニングイベントに花を添えました。



▲懐かしい70年代のフォークソングを9曲熱唱「おやじバンドOKUM55」さん



▲決しておやじではない「おやじバンド ハルレ」さんの演奏

多久城下ひなまつり

西溪公園内にある寒鷺亭では、多久城下ひなまつりが同時開催されており、所狭しと飾られた雛飾りで来場者を魅了していました。



▶来場者を魅了する、ひな人形。美しい色合いが幻想的でした



▲多久保育園とのもみ保育園の園児手作りのひな人形も展示され、会場を一層彩りました

市長コラム

温故創新

Message for citizen

情報課の新設と未来へのスタート

市長 横尾俊彦

花の笑顔と鳥の歌声が光る麗らかな春です。

年度末3月の関心は特別交付税の確保でした。

26年度予算に8億5千万円計上し、確保に向けて努力を積み重ね10億1千5百万円の交付決定です。本市にとつて貴重な財源として有効活用します。北日本の大雪、御嶽山噴火、広島島の土石流などへの対応の交付で、全体的交付への影響も心配される状況でしたが、格段のご配慮をいただいたと受けとめています。実に有難いことです。

新年度には「情報課」を新設します。二つの使命を担います。まずは広報広聴の充実向上です。SNS利用等が増える時代に応じた広報充実が大切になってきています。正確でわかりやすい情報伝達や情報共有を高めたいと考えています。

もうひとつの使命は、新たに始まるマイナンバーへの対応と市役所業務のICTによる効率化、自治体経営力を向上推進することです。

マイナンバーは今年10月から全ての国民と法人に付番が行われ、通知されます。その後にマイナンバーカードを交付し、行政サービス提供をマイナンバー利用により行うようになります。先進国では福祉、健康、教育、雇用など様々な市民生活の場面で便利な利用が進められています。

新創造の布石として強い思いを込めています。

春には新入生・進級生の皆さんの良好なスタートへの期待も高まります。また12日に県議会議員選挙、26日に市議会議員選挙があります。投票に行き、未来選択の参政権を行使して下さい。